

平成 30 年度 重点目標の取り組みと成果

はじめに

わが国では、高齢者人口が増加の一途をたどる一方、少子化も急速に進行しています。さらに、地域での人間関係や家族関係も希薄化が進み、高齢者の孤立、生活困窮、児童虐待など様々な問題が発生しています。

国においては、地域に暮らす人たちが共に支えあい、地域の困りごとを他人事ではなく「我が事」として捉え、支え合う「地域共生社会」の実現をめざしているところです。

本会においては、地区社協を核に、民生児童委員、福祉委員、自治会など関係者と連携・協働して見守り支援活動を進めるとともに、平成29年3月に策定した第3次地域福祉活動計画の年次計画に基づく取組を実施しました。

また、公共性の高い民間団体として、財政の健全化を図る為、平成30年3月に策定した財政安定化計画の実施計画に基づく取り組みも行っているところです。

特に、平成18年の合併以降、1本所3支所体制で運営をしてきましたが、支所の固有業務もほとんどなくなり、サテライトとしての支所の必要性はなくなったため、地区社協等と協議し、平成30年度末をもって3支所を同時廃止することになりました。また、事務局の組織については、4グループのチームワークを高めるため、課長補佐を廃止して、グループリーダーを置きました。

平成30年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進しました。

1 第3次地域福祉活動計画の推進

20の取り組みのうち、平成29年度開始の13事業に加え、平成30年度は3事業を新規に開始しました。

また、第3次地域福祉活動計画を円滑に進めるため、20の取り組みごとに推進スケジュールを作成し、局内で進行管理会議を行いました。また、外部の有識者による地域福祉活動推進会議を開催し、取り組みの進捗状況を報告しました。

2 財政安定化計画の推進

財源確保策11項目、経費削減策6項目について取り組みを行いました。賛助会員募集やチャリティ物品販売など計画どおり達成できた項目と補助金獲得などできなかった項目がありました。一般会員会費の改定については、平成31年度からの改定をめざしましたが、地区社協への説明不足のため、令和2年度改定をめざすことになりました。

これらの、実施計画を推進していくため、4半期ごとに局内で進行管理会議を行いました。

平成 30 年度 事 業 報 告

1 法人運営事業

<拠点区分 1>

公益性の高い法人として、透明かつ公正な運営を行うため、理事会で諸課題を協議するとともに、法人運営や会計処理を適正に行うため、法律、会計の専門家の協力を得て適正な運営に努めた。また、財政の健全化を図るため財政安定化計画実施計画の推進項目に取り組んだ。

(1) 三役会 (4 回)

- ① 5 月 28 日 (月) 福井市民福祉会館ボランティアルーム B
- ② 9 月 21 日 (金) 福井市民福祉会館ボランティアルーム B
- ③ 1 月 22 日 (火) 福井市社会福祉協議会会議室
- ④ 3 月 5 日 (火) 福井市民福祉会館ボランティアルーム B

(2) 理事会 (7 回)

- ① 第 1 回 4 月 26 日 (木) 決議の省略の方法にて開催
第 1 号議案 第 1 回評議員会の決議の省略について
- ② 第 2 回 5 月 15 日 (火) 決議の省略の方法にて開催
第 2 号議案 副会長の選任について
第 3 号議案 評議員選定委員の解任について
第 4 号議案 評議員選定委員の選任について
第 5 号議案 評議員選定委員会の開催について
第 6 号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
- ③ 第 3 回 6 月 4 日 (月) 福井市民福祉会館ボランティアルーム B
第 7 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算について
第 8 号議案 平成 30 年度資金収支第 1 次補正予算について
第 9 号議案 第 2 回評議員会の開催について
第 10 号議案 第 2 回評議員選定委員会の開催について
第 11 号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
第 1 号報告 副会長及び監事の選任について
第 2 号報告 第 1 回評議員選定委員会の結果について
- ④ 第 4 回 9 月 28 日 (金) 福井市民福祉会館ボランティアルーム B
第 12 号議案 第三者委員の選任について
第 13 号議案 平成 30 年度資金収支第 2 次補正予算について
第 3 号報告 職務執行状況の報告について
その他 会員会費の募集状況について
- ⑤ 第 6 回 1 月 28 日 (月) 決議の省略の方法にて開催
第 14 号議案 遺言に基づく財産受遺の承認について
- ⑥ 第 7 回 3 月 15 日 (金) 福井市民福祉会館ボランティアルーム B
第 15 号議案 平成 30 年度資金収支第 3 次補正予算の同意について

第 16 号議案	定款の一部変更について
第 17 号議案	支所廃止に伴う関係規程の一部改正について
第 18 号議案	経理規程の一部改正について
第 19 号議案	職員就業規則等の一部改正について
第 20 号議案	地域福祉基金の一部処分について
第 21 号議案	平成 31 年度事業計画並びに資金収支予算の同意について
第 22 号議案	平成 30 年度第 3 回評議員会の開催について
第 23 号議案	一般会員会費額の改定の同意について
協議事項	故法性定子氏の遺贈資産について
報告事項	会員会費募集状況

(3) 評議員会 (3 回)

- ① 第 1 回 5 月 8 日 (火) 決議の省略の方法にて開催
第 1 号議案 理事及び監事の退任に伴う補欠の選任について
- ② 第 2 回 6 月 22 日 (金) 福井市民福祉会館 301 号室 A・B
第 2 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算について
第 3 号議案 平成 30 年度資金収支第 1 次補正予算について
- ③ 第 3 回 3 月 27 日 (水) 福井市民福祉会館 301 号室 A・B
第 4 号議案 平成 30 年度資金収支第 2 次補正予算の承認について
第 5 号議案 平成 30 年度資金収支第 3 次補正予算の承認について
第 6 号議案 定款の一部変更について
第 7 号議案 地域福祉基金の一部処分について
第 8 号議案 平成 31 年度事業計画並びに資金収支予算の承認について
報告事項 一般会員会費額の改定について
会員会費募集状況について

(4) 評議員選定委員会の開催 (2 回)

- ① 第 1 回 5 月 24 日 (木) 福井市民福祉会館ボランティアルーム B
- ② 第 2 回 6 月 7 日 (木) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監事監査の実施

5 月 18 日 (金) 福井市社会福祉協議会会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査 (4 回)

(7) 顧問弁護士の配置

顧問弁護士を委嘱し、遺贈案件等について相談。

(8) 職員総数 437 名 [平成 31 年 3 月 31 日現在]

事務局職員	29 名
本 所	26 名 (常勤 17 名、市派遣 2 名、その他 7 名)
美山支所	1 名
越廼支所	1 名
清水支所	1 名
※本所のその他職員 7 名と支所の職員 3 名は非常勤	
事業職員	408 名 (非常勤職員)
児童館 (館長、児童厚生員)	82 名
放課後児童会指導員	245 名

自治会型デイホーム事業専任職員	47 名
日常生活自立支援事業生活支援員	30 名
地域子育て支援拠点事業専任職員	4 名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

市自治会連合会理事会	2 回
地区自治会連合会	25 回 (前年度 16 回)
地区社協の総会など	35 回 (前年度 33 回)

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実績額	前年度との比較
一般会費 (年額 350 円/世帯)	23,918,658 円	120,063 円増
賛助会費 (1 口 1,000 円/個人)	10,666,800 円	149,650 円増
特別賛助会費 (1 口 10,000 円/法人・企業)	7,182,784 円	90,784 円増
合 計	41,768,242 円	360,497 円増

※特別賛助会員加入企業数 608 社 (前年度 598 社)

③ 寄付金

44 件 1,078,818 円 (前年度 41 件 492,025 円)

④ チャリティ物品販売

越前水仙の販売 12 月 7 日から 10 日 収益 29,830 円

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 12 件 (前年度 12 件)

〈苦情申出人の属性区分〉

サービス利用者家族	6 件
自治会関係者	5 件
一般市民	1 件
合 計	12 件

〈苦情の事業区分〉

会員会費募集	4 件
放課後児童会事業	6 件
共同募金	2 件
合 計	12 件

〈苦情の内容区分〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	2 件
職員の接遇に関わる事項	3 件
制度、施策、法律に関わる事項	4 件

その他	4 件
合 計	13 件

※1 件の苦情受付で、複数の苦情内容があるため、合計に「1」の差異がある。

(11) 広報啓発活動の推進

- ① 社協だより「まごころ」の発行 年 6 回 各 82,000 部(全戸配布)
- ② 点訳社協だよりの発行 年 6 回 各 38 部
- ③ 音訳社協だよりの発行 年 6 回 各 5 本
- ④ 社協のごあんない発行 年 1 回 19,000 部
- ⑤ ホームページでの情報提供 <http://www.fukuic-shakyo.jp/>
- ⑥ Facebook での情報提供 <https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>
- ⑦ 福井市民福祉大会の開催(市と共催)
開催日 10 月 26 日(金)
会 場 福井市民福祉会館 小ホール
参加者 社会福祉関係者及び一般市民約 400 名

○第一部 式典

- ・市長表彰 16 名
- ・市社協会長表彰 1 校 3 団体 94 名
- 社会福祉施設功労者 19 名
- 社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者 20 名
- 退職役職員等社会福祉功労者 6 名
- 永年勤続功労者 7 名
- ボランティア功労者 3 団体 9 名
- 福祉委員功労者 33 名
- 福祉教育推進校 1 校

○第二部 講演

- 内 容 「見守り・支えあいのできる地域づくり」
講 師 陸前高田市社会福祉協議会 事務局長 佐藤 尚子氏

(12) 財政安定化計画の推進

- ①進捗状況 資料 1

実施計画に取り組み項目の実現に向けて取り組みをした。

資料 1

- ②進行管理会議の開催 4 回(7 月、10 月、1 月、3 月)

(13) 人事評価の試行

福井市の人事評価制度に倣い、管理職とグループリーダーに対して目標管理による人事評価を試行した。

(14) 法人連携の推進

福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会へ加入し、近隣地域住民の生活上の困りごとに関する総合相談及び経済的支援を行った。

【支援実績】 26 回(6 名)

【経済支援実績】 5 回(31,765 円)

2 地域福祉活動総合推進事業

<拠点区分2>

(1) 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地区社協を核に、福祉委員、民生児童委員、自治会などの関係者に対し、地域づくりに取り組む支援を行った。

第3次地域福祉活動計画の事業を推進するため、取り組みスケジュールに沿って、16の取り組みを企画実施し、4つの取り組みについて企画、調整、準備を行った。また、この活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、次年度に向けての改善につなげた。

① 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協に対し、相談・助言等の支援を行うとともに活動費の補助を行った。

ア 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援

地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。地区社協事務局会議等へも積極的に参加した。

- ・ブロック地区社協担当者会議の開催 年14回

イ ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実

ウ 地区社協課題解決ミーティングの開催

地区社協役員・事務局と福井市社協職員が、地区社協の運営や各地区の福祉課題について意見交換し、今後の活動を検討した。

- ・開催地区10地区

エ 地区社協運営・事業推進のための助成

地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動 啓発ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金

② ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

ア 福祉委員委嘱状交付式及び研修会

木田地区他10地区

開催日 4月14日(土)

会場 福井市民福祉会館 小ホール

内容 研修「福祉委員の役割」他

参加者 新任福祉委員等261名

清水4地区

開催日 4月10日(火)

会場 きらら館 多目的ホール

内容 研修「福祉委員の役割」他

参加者 新任福祉委員等70名

足羽ブロック(美山を除く)

開催日 4月15日(日)

会場 福井県立図書館 多目的ホール

内容 研修「福祉委員の役割」他

参加者 新任福祉委員等85名

その他の地区は、公民館等の会場で地区単独開催

イ 福祉委員スキルアップ研修会

【活動計画No.17】

開催日 9月1日(土)

会場 福井県自治会館多目的ホール

内容 講義と演習「楽しみながらかわる支援のあり方」

講師 県立大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 吉弘淳一 氏

参加者 129名

ウ 見守り強化のための市や関係機関との協議

各地区でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援及び関係機関の連携が円滑に行えるよう、市地域福祉課、地域包括ケア推進課、介護保険課と協議した。

エ 地域包括支援センター等関係機関との連携

地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、支援方法の協議やグループワークを行うなど、地域課題について話し合いを持った。

オ 地区社協単位での福祉委員と民生児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見守り関係者と研修、情報交換の場の設定(39地区51回)。

資料2

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援を強化するため、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用しての情報交換会、地域包括支援センターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会、防災関連の講座等を行った。

カ 自治会型デイホーム事業、食事サービス事業を通じた見守りの強化

キ 支え合いマップ作成のためのツールの提供および活用の支援

福祉委員・民生児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する1地区へ新たに提供した。平成30年度末現在、37地区が支え合いマップを活用している。

ク ひとり歩き模擬訓練事業への協力

㊦6月16日(土) 麻生津地区

㊦6月23日(土) 春山地区

㊦9月9日(日) 松本地区

㊦10月27日(土) 日之出地区

㊦11月10日(土) 森田地区

11月11日(日) 中藤島地区

㊦11月18日(日) 社北地区

11月25日(日) 社南地区

㊦3月2日(土) 本郷地区

ケ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体(自治会、民生委員、地区社協、保健衛生推進員等)と各種協力事業者(新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者など)による高齢者などへの見守りネットワークづくりへ参画した。

③ 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めるとともに、地区社協相互の情報交換を図りながら地区社協連絡協議会を支援した。

ア ブロック地区社協活動補助金の交付

イ 地区社協連絡協議会理事会の開催 5回(4月、5月、8月、12月、3月)

ウ 広報紙「むすんでひらいて」の発行 3回(4月、6月、9月)

エ 地区社協活動説明会（詳細版）

開催日 5月29日（火）

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA、301号室

内容 会費・共募について

啓発・ふれあい事業、食事サービス事業について

デイホーム事業について

地区社協会計事務について

地区社協事務について

参加者 地区社協事務局担当者等 56名

オ 地区社協会長情報交換会

開催日 7月19日（木）

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内容 地区社協活動の基本説明と情報交換・意見交換

参加者 地区社協会長 29名

カ 見守り活動に関する研修会

【活動計画No.19】

開催日 8月9日（木）

会場 福井県社会福祉センター

内容 「住民参加を高めるためのコーディネーション研修」

講師 京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科

教授 石井 祐理子 氏

参加者 地区社協関係者 66名

④ 各種地域福祉活動の推進

㊦ ア 実践につながる企業の社会貢献活動セミナー

【活動計画No.6】

社会や地域への貢献活動を考える企業と、企業の応援をもらいたい地域や団体が出会い、お互いの特徴を活かした活動を生み出すきっかけを作することを目的に、研修会を開催した。

開催日 12月1日（土）

会場 福井県自治会館 多目的ホール

内容 講演、実践発表、情報交換

講師 NPO法人明日育 常務理事 長井 一浩 氏

発表者 中山商事株式会社 代表取締役社長 中山 裕一朗 氏

株式会社サンワコン 取締役 総務部長 神下 明彦 氏

参加者 企業、福祉サービス事業所、ボランティア団体等 66名

㊦ イ みんなとみんなの交流会

【活動計画No.8】

ボランティア団体と当事者団体がお互いの活動内容や想いを知り、つながりを持つことで、それぞれの活動の発展を図っていくことを目的に交流会を開催した。

開催日 12月9日（日）

会場 福井市民福祉会館 小ホール

内容 情報交換、各団体からの活動紹介・PR

参加者 ボランティア団体・当事者団体等 63名

㊦ ウ 福祉サービス事業者との情報交換会

【活動計画No.20】

・開催日 2月24日（日）

会場 東安居公民館

内 容 地域住民と地区内の介護福祉サービス事業所、障がい地区委託相談支援事業所との情報交換会

参加者 東安居地区の住民、地区社協関係者等 44 名
福祉サービス事業所 10 名

・開催日 3 月 15 日（金）

会 場 岡保公民館

内 容 地域住民と障がい地区委託相談支援事業所との情報交換会

参加者 岡保地区の住民、地区社協関係者等 18 名
福祉サービス事業所 1 名

⑤中央いきいきサロン

【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障がい者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、お茶会、クリスマス会等	毎週金曜日 13:00～16:00 実施回数 47 回 会場 ボランティアルーム A	延べ 860 名 (前年度延べ 790 名)

⑥第 3 次地域福祉活動計画の推進

第 3 次地域福祉活動計画の 20 の取り組みについて、調整、企画、実施を行った。

資料 3

ア 地区社協での実施に向けた働きかけや協議

イ 地域福祉活動推進会議

開催日 3 月 13 日（水）

会 場 福井市民福祉会館ボランティアルーム A

内 容 平成 30 年度の推進状況と平成 31 年度の予定他

参加者 16 委員の内 12 名

（2）地区社協活動 啓発・ふれあい事業

地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。

① ふれあい福祉まつり（45 地区社協で開催、橐地区が悪天候で中止）

資料 4

地区社協単位で開催し、福祉まつりの事前広報、市社協・地区社協の活動紹介、共同募金運動の広報を必須とし、それ以外に各地区の独自メニューとして、「福祉・健康相談」「福祉用具展示」「車いす体験」など、日頃福祉やボランティア活動を意識しない人たちにも福祉やボランティア活動について、住民の理解を促す機会となった。

② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、講演会や座談会等を開催した。

③ 地区広報

各地区社協の活動の広報を、地区社協だよりやパネル製作で推進した。

（3）自治会型デイホーム事業

デイホーム利用者の健康や介護予防に対する関心を高め、運動を継続してもらうため、介護予防体操リーフレットを作成し、各デイホームで行った。

また、専任職員自身が健康で安全にデイホーム事業に従事できるよう、健康維持や健康意識の向上について学ぶ研修を実施した。

① 職員配置

- ア 企画職員 2名 社会福祉士等 事業の企画調整
- イ 看護職員 1名 保健師（兼務） 健康情報の発信
- ウ 指導職員 1名 事業の事務、集計等
- エ 専任職員

担当地区の自治会型デイホーム事業の企画・運営。区域ごとに1名配置
48名（2地区兼務者3名含む）

② 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料5

- ア 実施地区 49地区（51区域）で実施

イ 実施回数・実施箇所数

実施回数	延べ 3,752回	（前年度 延べ 3,604回）
実施箇所数	535か所	（前年度 521か所）
ウ 参加人数	延べ 70,788名	（前年度 延べ 70,020名）
利用者数	延べ 50,485名	（前年度 延べ 49,558名）
実人数	9,546名	（前年度 9,743名）
協力者数	延べ 17,721名	（前年度 延べ 17,824名）
その他	延べ 2,582名	（前年度 延べ 2,638名）

エ 参加率

65歳以上参加率	12.45%	（前年度 12.79%）
75歳以上参加率	16.62%	（前年度 17.25%）

③ 実施内容

ア 必須メニュー

転倒骨折予防を目的とした「ふくいのだんどこ体操」と、認知症予防基本メニューを実施した。

また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。

イ 通常メニュー

話し合い（ティータイム）や健康体操・レクリエーション・ゲーム・小物作りなどをベースに、季節感を出すとともに、毎年実施する利用者アンケートを参考にしながら趣味や特技を生かしたプログラムを盛り込んだ。

㊦ ウ 介護予防体操リーフレット「運動のススメ」の発行

福井県理学療法士会の協力により、筋力、バランス力、俊敏性の維持・向上のための体操を紹介するリーフレットを作成。各デイホーム会場で配布し、自宅でも続けることができるように普及啓発を行った。

エ 防火教室、交通安全教室、防犯教室、消費者出前講座の実施

消防局	防火・救急法教室	23地区	延べ54回
警察署	交通安全教室	23地区	延べ67回
	防犯教室	16地区	延べ40回
市地域交通課	交通安全教室	19地区	延べ83回
市消費者センター	出前講座	13地区	延べ46回

オ すかっとランド九頭竜での野外デイホーム（利用料の減免対応）

17地区	20回	利用者数	1,518名
------	-----	------	--------

カ ふくい市民国際交流協会「国際交流事業」の開催

福井市内に在住の外国人（中国、ブラジル、インドネシア等）との交流事業を実施した。

3地区 4回

④ 自治会型デイホーム事業運営委員会の開催

各地区社協単位で開催 全49地区社協 計 127回 開催

⑤ 会議・研修会の実施

ア 専任職員定例会の開催 年8回

イ 専任職員採用予定者研修

2月13日(水)～18日(月) 4日間 新規採用4名

ウ 専任職員研修会

7月23日(月) 専任職員48名

講義 「身近な材料で楽しめる創作活動」

講師 フラワーアレンジメント講師 田中 久美子 氏

10月1日(月) 専任職員48名

講義 「健康で元気にデイホーム事業を行うために」

講師 NPO法人生涯体育学習振興機構

理事長 漆崎 由美 氏 (健康運動指導士)

11月26日(月) 専任職員48名

グループワーク 「より魅力あるデイホームにするためには」

エ 地域福祉リーダー研修会

6月29日(金) 協力ボランティア及び専任職員等 131名

講義:「デイホーム活動関わり方へのヒントー高齢者の心とからだの理解ー」

講師:株式会社 ケア・フレンズ

地域在宅ケア統括責任者 松塚 泰孝 氏

⑥ 利用促進事業

デジタルカメラ、カラオケセット、プロジェクター等を貸出し、講座等の開催を行った。教養講座として、スポーツ吹矢体験講座や介護予防体操講座、和菓子講座等を開催し、新規利用者の利用促進を行った。

貸出実績 26回(前年度20回)

教養講座回数 35回(前年度40回)

(4) ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に、49地区社協が実施主体となり、配食や会食会を実施した。

① 実施回数、食数

※()内の数字は前年度実績

実施地区		49地区
実施回数		延べ477回(469回)
形態	配食	延べ392回(392回)
	会食	延べ85回(77回)
提供食数		延べ18,148食(18,701食)
利用実人数		3,037名(2,947名)
協力者数		延べ6,174名(5,971名)

運営委員会開催	延べ 169 回（158 回）
---------	-----------------

② 衛生管理・食中毒予防対策

使い捨て手袋、マスクを各地区に配布。

③ 地域福祉リーダー研修会の実施

開催日 6 月 1 日（金）

会 場 福井県立図書館 多目的ホール

参加者 食事サービスに関わる役員、ボランティア等 90 名

内 容 講義 「食事サービス事業における衛生管理のポイントについて」

講師 福井健康福祉センター 生活衛生課 佐々木 千佳 氏

講義 「高齢者向けの献立の工夫」

講師 福井県栄養士会 管理栄養士 木下 充子 氏

3 ボランティアセンター事業

＜拠点区分3＞

住民がボランティア活動に興味を持ち、気軽に参加できるようにボランティア講座を開催し、活動の機会の提供を行った。講座は、複数回シリーズにすることで参加者同士の交流を深め、グループ結成や既存グループへの加入を呼びかけ、実際の活動につなげた。

また、地域ぐるみで福祉教育を推進するため、福祉体験学習に地区社協や福祉教育サポーターの協力を得ながら、福祉体験プログラムの充実に努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

(1) ボランティアセンターの職員の配置

3名（兼務を含む）のボランティアコーディネーターが、ボランティアの需給調整に関する相談や各種講座の企画・実施、情報発信などを行った。

(2) ボランティア活動推進委員会の開催

ボランティア活動、福祉教育の普及と推進を図るために、各種関係機関で委員構成しているボランティア活動推進委員会を開催した。

① ボランティア活動推進委員会

開催日 7月3日（火）

- 内 容 ・平成29年度 事業報告と成果
・平成30年度 現時点での事業報告と今後の予定
・第三次地域福祉活動計画に基づいた事業について

(3) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 604件（前年度 891件）

② ボランティアの需給調整 ※（ ）は前年度の数字

項目	件数	備考
1. ボランティア相談	308件 (352件)	
①ボランティア活動希望	43件 (16件)	
②ボランティア派遣希望	137件 (246件)	
③その他の相談	128件 (90件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	291件 (286件)	
①活動紹介	124件 (173件)	
②情報提供	105件 (39件)	
③他機関紹介	14件 (7件)	
④広報	15件 (26件)	
⑤その他	33件 (41件)	

③ 福井市ボランティアセンター新規登録者数 4名（男1名、女3名）

④ ボランティア活動者の把握数 ※（ ）は前年度の数字

個 人	—	1,369名 (1,680名)
団 体	307団体 (301団体)	12,257名 (10,873名)
合 計	307団体 (301団体)	13,626名 (12,553名)

（物品の預託）

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ・チケット他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出しを行った。

- ⑤ 災害ボランティアコーディネーション研修（市災害ボランティアセンター連絡会共催）
開催日 2月18日（月）
会 場 福井市民福井会館ボランティアルームA
内 容 災害ボランティアセンターについての講義、グループワーク
講 師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏
参加者 43名

⑥ ボランティア講座の開催

ア 布のおもちゃ製作と活動体験講座 【活動計画 No. 7】
（高校生向けボランティア体験）

開催日 7月31日（火）、8月3日（金）
会 場 福井市民福祉会館ボランティアルームA
アオッサ子ども家庭センター子育て支援室
内 容 布のおもちゃの製作と活動体験
講 師 おもちゃ箱の会
参加者 24名

イ お話し相手ボランティア情報交換会

開催日 7月22日（日）
会 場 福井市民福祉会館ボランティアルームA
内 容 活動報告、情報交換
参加者 ボランティア13名、福祉施設等5名

ウ お話し相手ボランティアスキルアップ講座

開催日 第1回 10月20日（土）
第2回 11月18日（日）
会 場 第1回 特別養護老人ホームあさくら苑
第2回 福井県社会福祉センター2階 身障第2研修室
内 容 活動中のリスクやコミュニケーションスキルについての講義・
演習、情報交換
講 師 第1回 大原スポーツ医療保育福祉専門学校
講師 田中 さゆり 氏
第2回 アルマス・バイオコスモス研究所
水上 聡子 氏、大橋 春美 氏
参加者 26名

エ マラソン伴走ボランティア体験講座 【活動計画 No. 7】
（高校生向けボランティア体験）

開催日 2月17日（日）
会 場 福井県社会福祉センター体育館
内 容 ・オリエンテーション
・ボランティアや障がい理解についての講義
・伴走の演習
講 師 社会福祉法人足羽福祉会 あすわ地域生活支援センター職員
参加者 15名

オ ボランティアアカデミー「雪かきコース」(市総合ボランティアセンター共催)
開催日 1月26日(土)～2月16日(土)(4回シリーズ)
※2月9日、16日は、積雪がないため中止。

会 場 市総合ボランティアセンター研修室
内 容 雪かきボランティアについての講義と事例発表
参加者 17名

カ ボランティアアカデミー「おりがみコース」(市総合ボランティアセンター共催)
開催日 2月21日(木)～3月14日(木)(4回シリーズ)
会 場 市総合ボランティアセンター研修室、ヴィルヌーブあさくら 他
内 容 おりがみボランティアについての講義と演習、活動体験
参加者 14名(うち8名がボランティアグループ ブーケ茶論に加入)

キ 国体・障スポ 市民ボランティア大同窓会 in ハピリン
(市総合ボランティアセンター共催)
開催日 11月24日(土) 13:00～16:00
会 場 ハピリンホール
内 容 ボランティアについての講演とミニワークショップ
参加者 138名

⑦ ボランティア情報の発信 【活動計画 No. 16】

- ・ボランティア情報紙の発行
回 数 年9回発行
部 数 3,000部(ただし、社協だより発行月は3,700部)
設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所
- ・ホームページ、フェイスブックによる情報提供(随時)

⑧ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設およびボランティア募集について

市内在住の障がい者や高齢者の非課税世帯で、同居または近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月1日から翌年3月15日まで開設した。平成30年度は積雪がなく、活動実績はなかった。※()は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	27件(258件)
ボランティア活動希望者数	16名(32名)
ボランティア依頼世帯数	0世帯 (18世帯<障がい者14世帯、高齢者4世帯>)
ボランティア活動日数	0日(11日)
ボランティア活動者数(延べ)	0名(126名)

⑨ ボランティア連絡協議会への支援

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

- ・ユニークダンスパーティー
開催日 12月9日(日)
会 場 福井市民福祉会館小ホール(フェニックス・プラザ2階)
- ・ボラ連杯 レクリエーションボッチャ大会
開催日 3月17日(日)
会 場 福井市民福祉会館小ホール(フェニックス・プラザ2階)

⑩ 福井市民福祉会館ボランティアルーム等の利用説明会

4月11日（水）昼・夜開催 24団体参加

⑪ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請

（平成31年3月31日現在）

- ・市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録（45団体）
- ・登録団体の内、ボランティアルーム設置の保管庫の利用（23団体）
- ・登録団体の内、ボランティアルーム設置のコピー機の利用（22団体）
- ・ボランティアルーム利用人数（10,536名）

⑫ ボランティア保険の加入促進

- ・ボランティア活動保険 加入受付数 8,687名（前年度 7,416名）
- ・ボランティア保険等の加入のための普及啓発

⑬ 車椅子の貸出し 117件（前年度 124件）

⑭ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し 5件（前年度 8件）

⑮ 「福井市ボランティアネット」の運営協力

（4）福祉教育の推進

① 学校での福祉体験講座などへの支援協力

相談・コーディネート等 72件（前年度 97件）

② 学校での福祉体験講座（講師紹介） 延べ 50校（前年度 60校）

③ 福祉教育を考える会

【活動計画 No. 3】

開催日 8月25日（土）

会 場 福井市社会福祉協議会会議室

内 容 ゲスト講師からの実践発表、情報交換

参加者 5名（視覚障がい者）

④ 教職員課題別研修の開催（市教育委員会との共催）

【活動計画 No. 3】

開催日 8月6日（月）

会 場 市研修センター

内 容 福祉教育についての講義、事例発表（明新小学校）、グループワーク

講 師 京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科

社会福祉専攻 講師 南 多恵子 氏

参加者 43名（市内小中学校教職員）

⑤ 福祉教育サポーター懇談会

開催日 1月9日（水）

会 場 福井市民福祉会館セミナールーム

内 容 平成30年度の活動報告と懇談会

参加者 5名

⑥ 市内県立高校への学校訪問（ボランティア活動の普及啓発活動）

～各校のボランティア活動の現状と今後の活動について情報交換～【活動計画 No. 7、16】

	学校名	学校訪問日
1	藤島高等学校	7月9日（月）
2	高志高等学校	6月28日（木）
3	羽水高等学校	6月22日（金）
4	足羽高等学校	6月18日（月）
5	福井農林高等学校	6月26日（火）
6	科学技術高等学校	6月21日（木）

7	福井商業高等学校	6月20日（水）
8	北陸高等学校	7月2日（月）
9	仁愛女子高等学校	7月4日（水）
10	福井高等学校	6月19日（火）
11	啓新高等学校	6月26日（火）

（５）男性ボランティアアンケートの実施 【活動計画No.9】

アクティブシニアの男性が参加しやすい講座等の企画に役立てるため、シニア世代の男性を対象にボランティア活動に関するアンケートを行った。

回答者数 50名（男性のボランティア活動者、ボランティア講座等受講者）

（６）関係機関団体との連携、協働活動の推進

市総合ボランティアセンター運営委員会への参加

第1回 4月12日（木）

内容 減免認定団体の審査、総合VCの前年度事業報告、前期の事業計画

第2回 7月13日（金）

内容 減免認定団体の審査、総合VCの運営状況

第3回 11月14日（水）

内容 減免認定団体の審査、総合VCの前期の運営状況と後期の事業紹介

第4回 1月23日（水）

内容 減免認定団体の審査、総合VCの後期事業の報告、次年度の事業計画

（７）災害への対応

①江田島市災害ボランティアセンターへの職員派遣（1名）

期間：8月8日（水）～13日（月）

場所：広島県江田島市能美町中町

②市災害ボランティアセンター連絡会への参画

第1回目 6月13日（水）

内 容 平成29年度の取り組みと平成30年度計画について

第2回目 9月14日（金）

内 容 災害ボランティアセンター開設・運営訓練の振り返り、他市の災害支援ボランティアの報告 他

第3回目 3月29日（金）

内 容 平成30年度の事業報告と平成31年度事業計画（案）について

訓練の実施 6月24日（日）

内 容 災害ボランティアセンター開設・運営訓練

内部研修の実施 2月18日（月）

内 容 災害ボランティアコーディネーションについて

（８）福井市精神障がい者ボランティア団体支援事業

① 精神障がい者およびボランティアによる「つどい」の開催

精神障がい者の心身機能の回復を図るため、精神保健ボランティアグループの協力を得て「さわやかサロン」を開催し、ふれあいや交流を通じて仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、ゲームなど	毎月第2木曜日 13:00～16:00 毎月第4火曜日 13:00～16:00 実施回数 24回 会場 ボランティアルームB	延べ 87名 (前年度 延べ86名)
リラクゼーション体操教室	1月10日(木) 講師 (特非) 生涯体育学習振興機構 理事長 漆崎由美氏(健康運動指導士) 会場 ボランティアルームB 内容 体の無駄な力を抜き、心をほぐす体験	
お抹茶体験	3月14日(木) 会場 ボランティアルームB 内容 お抹茶体験	

②学習会の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
8月20日(月)	「ボランティアとは」	福井市社会福祉協議会 地域福祉課 副主幹 長谷川佳子	20名
1月23日(水)	「精神疾患をもつ患者への対応と活動の意義」 ー自分たちの心の健康を大切にしながらー	福井県総合福祉相談所 精神保健相談 精神認定看護師 畑 友子氏	25名
2月14日(木)	「日常におけるマナーについて」	マナーコンサルティング 「ことは理」 榊谷 真澄氏	18名
3月13日(水)	「地域で暮らす患者や家族のこころを支えるボランティア支援」	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口 達也氏	8名

③連絡懇談会の開催

開催日	内 容	参加者
3月13日(水)	今年度の活動の振り返りと次年度の活動について情報交換	市社協職員3名 クレヨン会員5名

4 子ども・子育て支援事業

<拠点区分4>

(1) 児童館の管理運営

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年10回以上実施した。また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図るとともに、中学生の来館を促進するため、中学生を対象とした行事や中学生の部活発表などを開催した。

① 児童館の管理運営（合計25館）

資料6

つばき、ひまわり、さざんか、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、あさがお、たんぽぽ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

ア 職員体制 館長 25名 児童厚生員 50名 代替厚生員 2名
主任支援員 2名

イ 開館日 月～土曜日（日曜日、祝日及び年末年始は休館）

ウ 開館時間 12:00～18:00（長期休業中は8:30～18:00）

エ 利用者数 延べ 335,774名（前年度 328,581名）

（内訳）一般来館者数 延べ 50,368名（前年度 56,261名）

放課後児童会利用児童 延べ 285,406名（前年度 272,320名）

オ 地域連携行事参加者数 延べ 76,735名（前年度 75,904名）

カ ボランティア活動者数 延べ 1,364名（前年度 1,082名）

キ 子育てひろばの開催 1,147回 延べ 12,136名

（前年度 1,082回 12,554名）

ク 中学生の来館者数 延べ 671名（前年度 966名）

※実績には、げんキッズ育成事業の実績も含む。

② 児童館正・副運営委員長会議

開催日 3月20日（水） 13:30～15:00

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームB

内容 平成30年度運営報告、平成31年度事業計画説明

③ 児童館長会議の開催 年7回開催

開催日 4月26日（木）、6月19日（火）、9月18日（火）、10月30日（火）
12月4日（火）、1月29日（火）、3月5日（火）

④ 児童厚生員連絡会

開催日 2月21日（木）

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内容 児童館会計事務マニュアル説明・グループトーク

参加者 厚生員 47名

⑤ 児童館職員研修の実施

ア 児童館館長研修会

開催日 6月19日（火）

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内容 時代ニーズに対応する児童館の機能・役割

講師 児童健全育成推進財団総務部部長 阿南 健太郎 氏

参加者 27 名

イ 児童館職員現任研修会

(i)救命救急法講習会

開催日 6月14日(木)、21日(木)、7月5日(木)

会 場 福井市防災センター

内 容 救助・AEDでの心肺蘇生法

講 師 福井市消防局職員

参加者 館長、厚生員、支援員 167名

(ii) 児童厚生員研修会

・第1回

開催日 5月15日(火)

会 場 フェニックス・プラザ地下大会議室

内 容 大規模災害への対応

講 師 福井県防災士会理事長 黒川 勲 氏

参加者 館長、厚生員 82名

・第2回

開催日 6月5日(火)

会 場 福井県自治会館 201 号室

内 容 児童虐待防止対応

講 師 福井市子ども家庭センター職員、NPO法人 はるもにあ

参加者 館長、厚生員 80名

・第3回

開催日 9月25日(火)、10月23日(火)

会 場 福井県社会福祉センター体育館

内 容 レク概論とあそびについて

講 師 福井県レクリエーション協会 辻岡 世紀子氏
山崎 千恵美氏

参加者 館長、厚生員 42名

・第4回

開催日 11月27日(火)

会 場 福井県自治会館

内 容 不審者対応

講 師 福井警察署 生活安全課

参加者 厚生員 51名

(iii) 支援員研修会

開催日 5月10日(木)、25日(金)

会 場 福井県自治会館 2階 201 研修室

内 容 児童虐待防止について

講 師 福井市子ども家庭センター職員

参加者 支援員 173名

⑥ 児童館事業の広報活動

ア 社協だより「まごころ」掲載

イ 児童館だよりの自治会回覧

ウ 市社協ホームページで各児童館活動紹介

エ 児童館のしおり「遊びにいこうよ！みんなの児童館」発行

オ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

⑦ 施設の修繕

たんぼぼ児童館フェンス修繕他 21 件

⑧ 児童館業務継続計画の作成

児童の保護や生活の安定のために優先的に実施すべき業務を特定するとともに業務の執行体制や対応手順を業務の執行体制や対応手順を示した

⑨ 児童館会計マニュアル作成

児童館の経理事務の標準化及び体系化を図るため、経理マニュアルを作成し、児童館職員に周知した。

⑩ 児童館現地ヒアリングの実施

各児童館の課題について市社協職員と館職員が話し合いの場を持ち、課題を共有し、対応策を共に考える「児童館現地ヒアリング」を開催した。

⑪ 全国児童館・児童クラブふくい大会「つるつるいっぱい ふくいでハピネス～みんなであつなぐ 子どもの未来～」への参加

実行委員、地区リーダー、企画委員として大会の運営に参加し、「子どもたちの放課後の世界を広げよう！～児童館と児童クラブの連携を通して～」と題して分科会を行い、全国の児童館・児童クラブ職員と情報交換を行った。

開催日 11月10日（土）11日（日）

会 場 福井県生活学習館（ユウ・アイふくい）

（2）げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」、旭小学校「さつきじどうかん」

② 職員体制 館長 3 名、児童厚生員 6 名

③ 開館日 月～土曜日（日曜日、祝日及び年末年始は休館）

④ 開館時間 12:00～18:00（長期休業中は 8:30～18:00）

⑤ 利用者数 延べ 32,078 名（前年度 21,034 名）

（内訳）一般来館者数 延べ 4,714 名（前年度 3,302 名）

放課後児童会利用児童 延べ 27,364 名（前年度 17,732 名）

⑥ 地域連携行事参加者数 延べ 5,675 名（前年度 4,246 名）

⑦ ボランティア活動者数 延べ 355 名（前年度 272 名）

⑧ 子育てひろばの開催 120 回 延べ 781 名
（前年度延べ 77 回 424 名）

⑨ 中学生の来館者数 延べ 50 名（前年度 44 名）

⑩ 施設の修繕

あじさいじどうかんプレイルーム床補強他 1 件

（3）放課後児童会事業の運営

児童館に放課後児童会を開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない児童を預かり、生活の支援を行った。

あさがお放課後児童会(麻生津地区)では、定員を上回ったため、3年生をもくせい放課後児童会(文殊地区)に送迎し預かりをした。

さざんか放課後児童会(木田地区)でも定員を上回ったため、木田小学校内に分室を設け、3年生を預かった。

- ① 放課後児童会の開設 28 会 (児童館で開設)
- ② 登録児童数 1,575 名 (短期含む) (前年度 1,509 名)
- ③ 放課後児童支援員認定研修の受講 39 名 (累計 177 名)
- ④ 障害児等の専門カウンセラーの派遣
派遣件数 141 件 (前年度 180 件)

- ⑤ 不審者対応
全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練

- ⑥ 平成 31 年度入会希望児童の調整

さざんか放課後児童会(木田地区)、すずらん放課後児童会(清明地区)、たんぽぽ放課後児童会(和田地区)において、定員を上回ったため、入会の抽選を行った。抽選を外れた児童は、同校区内の他の児童クラブに入会した。

木田地区、日之出地区及び麻生津地区は、入会希望者が既存の学童保育の定員を超えるため、福井市が平成 31 年度から小学校内に児童クラブを新設することとなり、開設に向けて準備を行った。

(4) 移動児童館の運営

もくせい児童館を拠点として、東足羽 3 地区の公民館、集会所等を利用して児童厚生員が出向いて移動児童館事業を実施した。

巡回会場	一乗、上文殊、六条
実施回数	延べ 15 回 (前年度 13 回)
利用児童数	延べ 352 名 (前年度 259 名)

(5) 地域子育て支援拠点事業

福井市清水保健センター内で子育て支援室「赤とんぼ」を開設した。福井市南西部にお住まいの方を中心に広く利用され、近隣の市町の方も来られている。季節に応じた行事や遊びに加え、保育士を常駐させて子育ての相談や、保健センターと連携した保健師による健康相談ができ、利用者から好評を得ている。

また、赤とんぼの案内チラシを作成し、市内の産科、小児科病院に配布して、周知を行った。

① 実施内容

主に 3 歳までの乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集う交流の場を設けるとともに、専任職員 4 名を配置し、相談支援などを行った。

- ② 開催日 毎週月～金曜日 10:00～16:00
- ③ 開催会場 福井市清水保健センター内 子育て支援室「赤とんぼ」
- ④ 開催日数 年間 243 日
- ⑤ 利用者数 延べ 8,832 名 (前年度 10,147 名)
- ⑥ 行事内容 4 月 25 日 (水) こいのぼり作り
5 月 17 日 (木) ベビーヨガ

5月31日(木) ミュージック・ケア
 6月06日(水) 歯医者さんに聞いてみよう
 6月08日(金) 作って遊ぼう
 6月29日(金) 親子体操
 7月02日(月) 七夕飾り作り
 7月10日(火) 保健師さんに聞いてみよう
 7月17日(火) 入園に向けて聞いてみよう
 7月23日(月) ～8月17日(金) 中庭で水遊び
 8月29日(水) 応急処置教室
 9月13日(木) ミニ運動会 おじいちゃん、おばあちゃんとの
 交流会
 9月28日(金) がっちゃんのお話会
 10月17日(水) 作って遊ぼう
 10月22日(月) ほめ方教室
 10月24日(水) 親子で遊ぼう
 11月06日(火) チャイルドシートの話し
 11月30日(金) 栄養士さんに聞いてみよう
 12月12日(水) 歯医者さんに聞いてみよう
 12月13日(木) クリスマス会 おじいちゃん、おばあちゃんとの
 交流会
 1月18日(金) ベビーヨガ
 1月28日(月) 節分製作
 2月19日(火) ママもリラックス
 2月25日(月) ひなまつり会
 3月13日(水) 親子体操教室
 3月20日(水) お楽しみ会

⑦ 相談件数 85件(前年度 66件)

5 セーフティネット支援対策事業

<拠点区分5>

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者等に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支援した。精神障害者や触法障害者、認知症の親と知的(精神)障害者の同居世帯に対する相談支援等、困難ケースについても関係機関と連携して対応した。

① 職員配置(平成31年3月31日現在)

ア 専門員 3名(専任1名・兼任2名)
 イ 生活支援員 32名(常勤1名・非常勤31名) その他登録者11名

② 利用状況

ア 契約件数累計 485件(うち平成30年度新規契約件数 29件)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計(前年度)
289件	81件	106件	9件	485件(456件)

イ 現利用者件数 124件(平成31年3月31日現在)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計(前年度)
--------	-------	-------	-----	----------

49 件 (25)	28 件 (7)	46 件 (18)	1 件 (0)	124 件 (122 件)
-----------	----------	-----------	---------	---------------

※利用者のうち生活保護受給者 50 名 (40.3%)

※ () 内は生活保護受給者

③ 相談状況

本事業の利用に関するもの				合 計 (前年度)
認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	
2,205 件	1,121 件	1,775 件	17 件	5,118 件 (4,916 件)

④ 成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計 (前年度)
7 件	3 件	2 件	0 件	12 件 (8 件)

⑤ 事業説明会等

- ア 包括支援センター居宅介護支援事業所勉強会 (北包括支援センター主催)
9 月 21 日 (金) 管内介護支援専門員対象
- イ 地域移行・地域定着研修会 (基幹相談支援センター主催)
12 月 5 日 (水) 市内高齢者、障害者支援機関対象

⑥ 広報啓発活動

ホームページで事業広報ページ掲載

(2) 生活福祉資金貸付事業

失業者世帯や低所得世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度に関する相談を受けた。また、県社協による滞納案件の償還指導等に協力した。

- ① 相談件数 延べ 528 件 (前年度 608 件)
 - 申請件数 延べ 27 件 (前年度 20 件)
 - 貸付件数 延べ 25 件 (前年度 18 件)
 - 市内貸付件数 (県社協受付分含) 40 件 (前年度 51 件)
 - (内訳) 総合支援資金 0 件 (前年度 0 件)
 - 福祉資金 3 件 (前年度 5 件)
 - 緊急小口資金 20 件 (前年度 21 件)
 - 教育支援資金 16 件 (前年度 10 件)
 - 臨時特例つなぎ資金 1 件 (前年度 15 件)
- ② 貸付総額 9,680,520 円 (前年度 9,421,734 円)

6 共同募金配分事業

<拠点区分 6>

福井市共同募金委員会からの助成を受け、市社協で広報啓発事業や見守り支援事業、地区社協では地域福祉活性化事業などを行った。

また、福井県共同募金会の災害等準備金の取崩助成事業から助成を受け、小型除雪機を購入した。

(1) 広報啓発事業

- ① 社協だより「まごころ」の発行
年 6 回 各 82,000 部 (全戸配布)
- ② ボランティア情報紙の発行

回数 年7回発行

※9回中7回分を発行

部数 3,000部（ただし、社協だより発行月は3,700部）

(2) 見守り支援事業（P6～7 参照）

① 福祉委員設置助成

福祉委員設置地区 49地区（1,605名）

福祉委員活動推進費補助 1名につき 2,000円

② 福祉委員委嘱式・新任福祉委員研修会の開催

福祉委員改選に伴い、委嘱式を開催した。希望により一部地区では、地区開催で委嘱式を行った。

開催日 4月14日（土）

会場 福井市民福祉会館 小ホール

内容 委嘱式、研修「福祉委員の見守り支援活動について」他

③ 福祉委員ハンドブック作成

福祉委員ハンドブック 1,500部を作成し、新任福祉委員研修等で配布し、活動に活かした。

④ 支え合いマップ作成

地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。

(3) 地域福祉活性化事業助成 49地区 900,600円

前々年度大口募金実績額に基づく助成

(4) 緊急災害援護配分金

10,000円（火事見舞い 1件 10,000円×1件）

(5) 歳末たすけあい配分金事業

① 地域福祉活動発表会の開催

【活動計画No.13】

地域福祉活動を行う団体が対外的に活動を発表し、新しいつながりを作り、連携を図ることを目的に地域福祉活動発表会を開催した。

開催日 12月15日（土）

会場 福井県自治会館多目的ホール

内容 異なる分野から5団体が活動発表

発表者 円山地区社会福祉協議会、仁愛女子高等学校、松本縁が和ミーティング、株式会社ヤスサキ とくし丸、福井県卓球バレー協会

助言者 福井大学国際地域学部 講師 田中 志敬 氏

参加者 地区社協、団体、企業他 161名

② 子ども食堂への助成

③ 福井市ボランティア連絡協議会への助成

7 基金運営事業

<拠点区分7>

地域福祉基金積立資産のうち1億円を共同発行債（10年）で運用。地域福祉基金の一部を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。

(1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 281,879,542円（前年度 285,184,928円）

- (2) 災害ボランティア基金運営事業
基金残高 1,326,013 円（前年度 1,325,882 円）

8 駐車場運営事業

<拠点区分8>

故谷口フサノ氏の自宅跡地（毛矢3丁目7番4号）を貸駐車場（5台分）として賃貸した。

駐車場賃貸収入 5台分 240,000円（前年度 240,000円）

9 自動販売機設置運営事業

<拠点区分9>

市民福祉会館2台 売上 121,014 円（前年度 151,833 円）

上記のほか、株式会社ウララコミュニケーションズ、湊地区社会福祉協議会・湊公民館、啓蒙公民館に自動販売機を設置いただき、売上の一部6,581円を寄付していただいた。

10 関係機関団体への支援・協力

- (1) 各種委員会・会議への参加協力（出席者）

- ・ 福井県社協理事（会長）
- ・ 福井県共同募金会理事（会長）
- ・ 福井市交通安全対策協議会（会長）
- ・ 福井市民生委員推薦会委員（会長）
- ・ 福井市国民保護協議会委員及び幹事（会長、次長）
- ・ 福井市防災会議委員及び幹事（会長、次長）
- ・ 福井市ふれあい公社評議員（会長）
- ・ 第73回国民体育大会福井市実行委員会常任委員（会長）
- ・ 「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員（会長）
- ・ 公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員（会長）
- ・ 福井市中心市街地活性化協議会（会長）
- ・ 福井市刑務所視察委員会委員（副会長）
- ・ 青少年育成福井市民会議監事（副会長）
- ・ 福井市国民健康保険運営協議会委員（理事）
- ・ 福井市功労者選考委員会委員（評議員）
- ・ 福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員（専務理事）
- ・ 福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員、委員（専務理事、評議員）
- ・ 福井市明るい社会づくり推進協議会常任理事（副会長）
- ・ 福井市中央公民館運営審議会委員（事務局長）
- ・ 福井市空き家対策協議会（次長）
- ・ 福井市子ども・子育て審議会委員（次長）
- ・ 福井市要保護児童対策地域協議会（次長、総務企画課担当職員）
- ・ 福井市放課後子ども総合プラン運営委員会委員（総務企画課担当者、児童館長）
- ・ 福井市児童クラブ連絡協議会理事（総務企画課担当者）
- ・ 全国児童館・児童クラブ福井大会委員（総務企画課担当者、児童館長）
- ・ 福井市男女共同参画審議会委員（児童館長）
- ・ 福井市学校不適応対策事業推進会議（児童館長）

- ・ 福井市地域福祉計画推進評価会議（地域福祉課長）
- ・ 福井市地域包括ケア推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市障がい者施策推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市障害者差別解消支援地域協議会（地域福祉課長）
- ・ 福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市地域福祉計画推進連絡会（地域福祉課担当者）
- ・ 福井市介護予防・生活支援サービス推進会議（地域福祉課担当職員）
- ・ 福井市認知症施策検討協議会（地域福祉課担当職員）
- ・ 福井市消費者センター運営協議会（地域福祉課担当者）
- ・ 福井県内社協職員協議会役員（地域福祉課職員）

（２）後援事業

- ・ 第 61 回全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会総会および P T A・校長会合同研修大会「福井大会」
- ・ 演劇ワークショップ「老いのリハーサル」
- ・ 「みんなで舞台に立とう！シーズン 13」
- ・ 平成 30 年度東海・北陸ブロック研修会
- ・ 東海北陸バリアフリー交流集会 in ふくい
- ・ 「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー」 in ふくい
- ・ 第 23 回福井シルバーバレーボール交歓全国大会
- ・ Deco と Boco んぎゅっとあわせて 14 人の夢と希望の since2016
- ・ 平成 30 年度「北信越精神保健福祉研修大会」
- ・ 平成 30 年度すこやか長寿祭
- ・ ハナスバ 2018「ワーク×ライフ＝幸福？！ーアートがしかける仕事と生活のよりよい関係ー
- ・ 福井しあわせ元気全国障害者大会オープン競技福井しあわせ元気卓球バレー全国交流大会
- ・ 「認知症と家族への援助をすすめる第 34 回全国研究集会」
- ・ 平成 30 年度福井市空き家等無料相談会
- ・ 平成 30 年度第 17 回市民公開講座
- ・ 第 19 回福井県障がい者ハートフル文化祭
- ・ 絵画と造形の展示「ムラムラと a n a n」展
- ・ 第 9 回福井県障がい者水泳競技大会
- ・ 第 10 回足羽福祉会サービス実践報告会
- ・ 第 2 回あじさい元気カラオケ大会
- ・ スミセイウエルネスセミナー
- ・ 平成 30 年度福井市身体障害者福祉大会
- ・ 第 7 回足羽川ふれあいマラソン
- ・ 第 32 回三世代合同のつどい
- ・ 「ノーマライゼーション社会を目指して～ふれあい、支え合い共に生きる～」
- ・ 第 2 回障がいのある人の災害時の暮らしのための講座
- ・ ボラ連杯レクレーションボッチャ大会

(3) 実習生の受け入れ

福井市医師会看護専門学校 43 名

8 月 22 日 (水) ~8 月 29 日 (水) 21 名

8 月 31 日 (金) ~9 月 7 日 (金) 22 名

自治会型デイホーム事業での実習

(4) 三市 (金沢市・富山市・福井市) 社協懇談会の開催

開催日 11 月 16 日 (金)

会 場 富山市総合社会福祉センター

参加者 18 名 (うち本会職員 4 名)

内 容 成年後見制度利用促進体制の整備、I C T の効果的な活用方法、人材育成等の情報交換
施設内見学

11 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金の実績は、目標額に対しても、前年度実績に対してもともに下回る結果となったが、歳末たすけあい募金は、福井市明るい社会づくり推進協議会と高校生ボランティアの協力を得て、目標額を上回ることができた。

【一般募金】

(単位 円)

募 金 種 類	目標額	実績額	差異額
戸 別 募 金	11,035,000	10,851,349	△183,651
大 口 募 金	8,610,000	8,328,510	△281,490
街 頭 募 金	284,000	295,770	11,770
学 校 募 金	800,000	870,191	70,191
職 域 募 金	2,511,000	2,499,717	△11,283
法 人 募 金	491,000	626,312	135,312
その他の募金	570,000	599,200	29,200
合 計	24,301,000	24,071,049	△229,951

【歳末たすけあい募金】

(単位 円)

募 金 種 類	目標額	実績額	差異額
街 頭 募 金	340,000	280,000	△60,000
学 校 募 金	—	10,412	10,412
その他の募金	—	50,000	50,000
合 計	340,000	340,412	412